

主催者あいさつ

公益財団法人日本学校体育研究連合会

会長 本村 清人

おはようございます。学体連の本村でございます。公益財団法人の定款に基づき、昨日、評議員会及び理事会を開催いたしました。引き続き会長職としてご指名をいただいたところでございます。副会長、理事長も含め、新しい体制となりました。執行部一同、力を合わせて公益目的事業の推進に向かって一層の努力をしていく所存でございます。

第53回全国学校体育研究大会岐阜大会を本日も長良川国際会議場で全体会を、そして明日、幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校、合わせて12の学校で分科会を盛大に開催できますことを主催者の一人として、ご参会の皆様方とともに喜びたいと存じます。

本日は大変ご多忙の中、主催者である文部科学省からはスポーツ・青少年局体育参事官 日向信和様、ご来賓として岐阜県から岐阜県副知事の高原 剛 様、岐阜市から副市長の浅井 文彦 様、共催であります岐阜県教育委員会からは教育次長の南谷 清司様はじめ、多くの方々にご出席をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、私ども日本学校体育研究連合会、略して学体連と申しておりますが、昭和22年に日本体育指導者連盟を結成し、その後、昭和37年に名称変更し、財団法人日本学校体育研究連合会として発展して参りました。そして昨年、公益財団法人日本学校体育研究連合会として新たな一ページを開き、2年目を迎えております。したがって、従前にも増して学校体育の充実発展に資する事業を円滑かつ効果的に進めていかなければなりません。公益目的事業として、第一にこの全国学校体育研究大会の開催支援事業、第二に指導資料の作成事業、第三に指導者講習会の開催事業、第四に全国学校体育研究最優秀校、優良校、功労者表彰の表彰事業、そして第五に広報事業等をあげております。今後とも、皆様方のご支援、ご協力をお願い致します。

この後、学校体育研究最優秀校、優良校、功労者表彰が行われますが関係の皆様方のご努力に対し、心から敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

岐阜大会では大会主題を「生涯にわたって運動に親しみ、明るく豊かな生活を営む資質や能力を育てる体育授業」とし、さらには各学校種に応じて研究主題を掲げ、現在の体育が求められている姿を岐阜県の具体的な研究として、ご発表をいただけることになっております。

この「明るく豊かな生活を営む資質や能力を育てる」ということは、全ての子供たちに生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現していくための資質や能力を育てることによって、現在よりもより将来の生活において健康で活力に満ちた明るく豊かなものにしていくという体育、保健体育の究極的目標といえます。単に知識、技能を習得・向上させるだけではない、その資質や能力を育むための体育授業のあり方が提案されるものと期待しております。

授業で勝負、授業力、この授業力を高めていかなければなりません。そのためには中核となる教員が必要不可欠でございます。先輩諸氏のよい授業づくりを受け継ぎ、若い人材を実践的な研究を通して育てていただく中核となる教員が求められます。また、次の学習指導要領改訂に向けて「21世紀型能力」が国立教育政策研究所から提案されております。これらの課題に向かって学体連として真摯に取り組んで参りたいと存じます。

おわりになりましたが、文部科学省、共催であります岐阜県教育委員会、岐阜市教育委員会、羽島市教育委員会、各務原市教育委員会、岐阜県学校体育研究連合会、主管をしていただきます第53回全国学校体育研究大会岐阜大会実行委員会の皆様方に衷心よりお礼申し上げます。この2日間、どうぞよろしく願いいたします。